

久保・長江中学校区の学校再編に係る第3回保護者説明会（土堂小学校）議事録

1 日 時 令和5年7月31日（月） 19:00～21:15

2 場 所 土堂小学校体育館

3 出席者 保護者 22名  
教育委員会事務局 12名

宮本教育長、川鱈教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長  
三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、安保学校経営企画課長補佐  
石川庶務課管理係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長  
岡田庶務課管理係主任、玉里庶務課管理係主任  
才谷教育指導課指導主事

4 進 行

担 当	内 容
宮本教育長	<p>19:00～</p> <p>1 開会 2 教育長挨拶</p> <p>皆さんこんばんは。お仕事等で大変お疲れのところ、また暑い中、この説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。保護者の皆様には、昨年11月29日からのオンラインによる説明会で学校再編案をお示しして以来、2月5日と6月2日にしまなみ交流館で関係する6つの学校の保護者の皆様を対象に、説明会を開催させていただき、たくさんのご意見やご質問をいただいたところでございます。今回の第3回の保護者説明会は、7月24日から8月2日にかけて学校ごとに開催をしております。本日、初めに、教育委員会から改めてご説明を申し上げたいと思います。その後、質疑応答の時間を設けまして、皆様からのご意見やご質問をお受けしたいと考えております。以上、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。</p>
教育委員会事務局（司会）	<p>事務局自己紹介</p> <p>続いて、教育委員会からの説明に入りますが、本日の資料の確認をさせていただきます。1枚目が本日のレジメになります。2枚目がこれから説明いたしますスライド資料になります。3枚目のカラー印刷が新たな学校のパンフレットになります。ご確認ください。それでは教育委員会事務局から説明を行います。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>3 説明</p> <p>それでは失礼いたします。説明の前に、先程司会から、教育委員会から説明というふうに申し上げたんですが、この度の説明会は各学校での初めての開催となります。そのため、初めて説明会にご参加いただいた方もいらっしゃるのではないかと思います。これまで説明申し上</p>

げてまいりました内容をもう一度振り返る形で説明をさせていただくような内容となっております。もしよろしければ、質疑応答の時間を確保する観点から、概要のみの説明とさせていただきます、10分程度に短縮させていただくということも可能ですが、いかがいたしましょうか。

(参加者うなずく)

何名か頷いていらっしゃるようですので、そういう形にさせていただいてもよろしいですか。もし分からないことがあればまた質問をしてください。座って失礼いたします。

それでは皆様のご了解をいただきましたので、質疑応答の時間を確保する観点から、本日も説明申し上げる予定だった内容、それから、特にお伝えすべき点について、概要のみご説明申し上げますので、その他についてはスライド資料をご確認いただければというふうに思っております。本日の説明は、これまで2回行いましたしなみ交流館での説明会の内容を振り返りまして、まず、縦1、学校再編案について、縦2、小中一貫教育校の教育内容について、縦3、新しい学校の施設について、縦4、今後について、というように説明をさせていただく予定としておりました。まず、これまでご提案しております学校再編案を画面に示しておりますけれども、ここはちょっと確認をさせていただきます。久保小学校、長江小学校、土堂小学校は1つの学校に統合、山波小学校は1つの学校として存続、久保中学校と長江中学校は1つの学校に統合し、久保小学校、長江小学校、土堂小学校の統合校と山波小学校の卒業生が進学をします。これらの3つの学校は小中一貫教育校とし、令和7年4月開校を目指します。そして、次のスライドで、新しい小学校と新しい中学校の位置、それから、令和7年4月に開校すること、令和9年4月に新校舎を使用開始するということのご説明を差し上げる予定としておりました。それから学校再編案に至った経緯につきましても、これまで説明を申し上げてまいりました。検討にあたりましては、次の3点。まず1点目が安全性の確保、それから2点目が校舎の耐久性について、3点目が適正な学校規模の確保について検討をさせていただいたということ。それから、教育委員会が提案をしております小中一貫教育校とはどのようなものか。そして、小中一貫教育校における教育内容についても、これまでご説明申し上げてまいりました。画面には、小中一貫教育校における目指す子供像について、それから、15歳を意識し、9年間の学びを育てる力。そして、育てたい資質・能力について、教育委員会の目指すところを説明申し上げました。そうした力を身に付けさせるために、どのような教育を創造していくか、ここにはグローバル、ローカル、それから、個別最適な学びと協働的な学びということで説明を申し上げてまいりました。グローバルな学びの創造の例として、英語教育やキャリア教育の充実について、画面にはキャリア教育の説明が映っております。そして、ローカルな学びの創造としてのおのみち学の充実について。学びの基礎・基本としてのモジュール授業の展開について。そして、9年間の学びの集大成としての一例としての、まちづくり政策提案発表会の開催について。以上、小中一貫教育校での教育内容についてご説明を申し上げてまいりました。スライド18と

スライド19は、施設の整備スケジュールについてご説明してきた内容の確認となっております。スライド20からは、新しい学びを実現するための施設面における工夫についての説明となっております。スライド21からスライド23は、グループワークのためのワーキングスペースの設置について。そして、今映っておりますのが、専門科目教室とホームベースの設置についてお話をしてきたところです。その他、新しい学びに対応する工夫についてご説明を申し上げました。

以上、これまでの説明会でご説明申し上げたことの概要を確認させていただいたわけですが、今後についてということで、今画面に映っておりますが、これまでに通学路の安全・安心の確保について多くのご質問をいただきました。新しい小学校への主な通学路として考えられる長江通りにつきましては、今後も教育委員会と保護者、地域の皆様や、関係課や道路管理者などと、安全・安心のために何ができるかを継続して検討を行っていくとともに、路線バスを利用した通学支援について、小学校3km以上としております学校統合の本市の通学支援の基準を踏まえ、通学距離や対象学年など、どのようなあり方が考えられるか検討を行ってまいります。また、目指す学校像や教育内容、通学対策等については、今後も保護者の皆様のご意見を伺いながら、引き続きよりよいものとなるよう検討を行ってまいります。そして実際に学校を動かすのは、教職員の皆さんとなります。6つの学校の教職員の皆さんと、小中一貫教育校の教育課程の編成や教育内容などについて、子供たちにとってよりよいものとなるよう議論をしていきたいと思っております。

また、画面にはありませんが、保護者対象のアンケートの実施について、7月14日の金曜日開催しました育友会・PTA役員の皆様との意見交換会で提案をいたしました。その際、役員の皆様から、アンケートの質問項目が少なく、この質問項目だけで判断していくことができるのか、アンケートの集計方法が明確になっていないなど、多くのご意見をいただきました。そうしたご意見を踏まえ、その後、短い取組期間の中で教育委員会としての判断材料の一つとなり得るアンケートができるか検討した結果、アンケートの実施はしないことといたしましたので、お伝えをいたします。

なお、現在、保護者説明会を行っているところでございまして、8月上旬から地域への説明会を開催していく予定としております。

子供たちの安全性の確保の観点、そして子供たちのより良い教育環境の確保の観点から、保護者、地域、学校、教育委員会で力を合わせ、未来を担う子どもたちのために新しい学校を作ってまいりましょう。

概要版ということで非常に簡単ではございますが、以上で教育委員会からの説明は終わります。

#### 4 質疑応答 19:14～

続いて教育委員会に対しまして、質疑を受けたいと思います。質問のある方は挙手をお願いいたします。

保護者 1

失礼します。今日はありがとうございます。アンケートを検討されて

小柳学校教育部長	<p>いたと思うんですけれども、やめられた理由を今伺いして、アンケートされないということは、どういうふうに判断されて、どういうふうに決定されていくのでしょうか。具体的に教えていただけたらと思います。</p>
保護者 1	<p>アンケートの検討をさせていただいたんですけれども、先程申しました理由等で実施しないということ判断させていただきました。私達は今回の保護者説明会を7月24日の長江小学校からスタートして、今日で4校目ですけれども、6つの小中学校を回らせていただき、また地域説明会を回らせていただいて、皆様方の質疑の内容も判断の1つさせていただきながら、あとは教育委員会の中でどうするべきか、責任を持って判断させていただきたいと思っております。</p>
小柳学校教育部長	<p>それでは、説明会であまり意見が挙がらなかった場合は、それが判断材料となるということでしょうか。</p>
保護者 1	<p>はい。説明会で意見が挙がるか挙がらないかに関わらず、私達はこうして説明をさせていただいて、皆様から率直なご意見をいただくために来ておりますので、意見の中身等を精査させていただきながら、判断させていただきたいと思っております。</p>
保護者 1	<p>すいません。続いて違う質問になるんですけども、校舎の間取り図ですけど、新しい教育内容に合わせた設計になっていると思うんですが、2ヶ月くらい前に新しいこの教室のお話って出たと思うんですが、その後、宮本教育長は叡智学園を真似るのではなくて、スタンダードの教育を作っていきたいんだっていう話に変更されたような印象があるんですけれども、設計は変わらずに叡智学園の内容を模した感じにするのでしょうか。</p>
末國庶務課長	<p>お答えします。今、新しい学校の施設として主に説明させていただいているのは、中学校のものでございます。中学校はこのような形になって、小学校については、高学年から徐々にということでございます。ですので、小学校については、既存の施設のイメージに近いかなというふうに思っております。</p>
保護者 1	<p>では、添付していただいている間取りは、例えば5・6年生の校舎というか、例えば4階と5階が5・6年生ですってなった場合は、4階と5階がこういう間取りで、それ以外の教室、1年から4年生とかは普通の教室で行うということですか。</p>
末國庶務課長	<p>どちらかというと、そういうイメージでございます。</p>
川鯨教育総務部長	<p>補足をさせてください。まるで決まったかのように今言ったんですけれども、まだ設計というのは全く行っておりません。ですから1つのイメージだと思ってください。当然これから、もしも統合に向かってと</p>

	<p>ということで合意をいただけるのであれば、こういったところも、皆さんのご意見を参考にしながら、実際の設計に入っていくということですから、これがもう決まったとか、これでいきますとかいうことではございません。</p>
保護者 1	<p>それでしたら、9月に設計の予算をとられるというお話を以前伺ったと思うんですけども、教育内容と校舎が合わさった形で今考えられていると思うんですが、どの時点でこれでいこうって判断されるのかということと、前回の役員向けの意見交換会でも、久保小からも長江小からも、教育内容をもう少しブラッシュアップした方がいいんじゃないのかって意見も出ていたと思うので、どういうタイムスケジュールで動かれているのか、教えていただきたいです。</p>
末國庶務課長	<p>設計については、このまま進めさせていただきたいといったことは、これからの話になるんですけど、進めさせていただくということになれば、ご意見などを踏まえながら、1年半の中で、当然、調整しながら、進めさせていただくということです。</p>
保護者 1	<p>では、その1年半の中で、変えられる事項は結構あるということですか。どこの部分に納得したら進むとか、具体的に教えていただけたらと思うんですけども。</p>
末國庶務課長	<p>やはりある程度固まった時点では、そう簡単には動かなくなるんですけど、3・4か月程度の間のコア設計のところ、いろいろご意見をいただいて、何ができるか、というお話をさせていただくようになると思います。</p>
保護者 1	<p>前回の役員との意見交換会の時も、他の3小の方たちも、9月に予算が通ってしまったら、何を変えることができ、何が変えられなくなるのかが分からないから不安である、っていうご意見があったと思うので、そこをはっきりさせていただけたら大変ありがたいなと思います。子供たちを通わせる身としては、いつどこで何をするかっていう未来設計がありますので、あまりフワッとしたようなものだと、来年どうなるんだ、再来年どうなるんだっていう、分からないまま通わせるっていうのはちょっと難しいので、そこを具体的に示していただけると助かります。</p>
小柳学校教育部長	<p>本当に、ご意見はごもっともな部分がおありだと思います。まず、私達が今回小中一貫教育校を提案させていただいた時、やはり教育内容と新しい校舎というのは、一体的に考えていかなければいけないということで、どちらかを優先してっていうようなことがもしかしたらあったかも知れませんが、私達はそういった教育内容と新設校舎の一体化ということを図るために、私達教育部門と施設管理部門が学校視察に行く時は必ずセットで何校か見させていただきました。そういった中で、多分今共通イメージは持っているんですけども、そのイメージ</p>

	<p>というのはまだこれから当然変えることもできますし、教育内容については、まだ教育委員会の思いを具体化する段階までいっていませんから、やはり教職員が使い勝手がいいとか、当然子供たちの生活に支障がないであるとか、いろんな施設を見ていくときの視点とか観点というのはあると思いますので、そういった視点から様々な意見をいただきながら、限られた期間の中で最大よりよいものを作っていくということでやはり考えていきたいと思っています。</p>
保護者 1	<p>ありがとうございます。長くなったのでもうおしまいになります。</p>
保護者 2	<p>いろいろ魅力的な新しい学校の提案を考えてくださってありがとうございます。私は学区内に住んでいる者です。子供が2年生と4年生になるんですけれども、いろいろ提案いただいているんですけれども、ちょっと外れた質問だったりしたら申し訳ないんですが、私自身は、まだまだこの新しい学校を提案されて、そうなんだというふうに議論できるそういう気持ちの状態でもないし、受け入れられるような状態ではなくて、やはり、昨年まで町内会長をやっていたので、周りの同学年の子どもたちの親とかいろんな人の意見を聞いて、一度請願でもしてもう少しきちんと話を聞いてもらいたい。なぜ勝手に進められるのかってということで、ちゃんと地域の保護者とか、そういったものが検討委員会に入ってないってということで、非常にそれが、こういう提案をされる以前の話で、ちょっとプロセスが抜けているんじゃないかなということで、非常にそこがいつも気になっているわけなんですけれども、簡単に言うと、いくつも聞きたいことあるんですけれども、やはり僕らとしては、この地区に住んでいて、小学校がなくなるっていうことは非常に残念で、今僕達の地区っていうのは、今は50世帯ぐらい、東土堂の西山手に限るんですけれども、そこは50世帯中、半分以上、25世帯ぐらいが若い世帯で、だんだんこの20年間に若い人も増えて、結婚して子どもも増えてってということで、これからまだまだ25世帯の年配の方たちも、世代が変わって行って若い人が増えていく可能性もある。ここだけはどんどん平均年齢が下がっていている状態なんですけれども、やっぱり、学校がなくなるのは、非常にそれに対して後ろ向きになるというか、やっぱり歩いて行くことができる近くの学校があるっていうのは、非常に僕らにとって重要なことで、ここまで説明していただいて申し訳ないんですけれども、依然として、私の立場としては、反対したいなど、今の学校残してほしいという立場なんですけれども、前回の地域説明会にも出た、今の学校を耐震化できないっていうコストの話で22億かかると言われていたんですけれども、以前ですね、尾道新聞で発表された時の記事があるんですけれども、それが2021年の6月13日に、耐震化をするのが、三原の協和設計さんが検討した結果、工事費は5億3000万円だったということを見積もっているのが、いきなりこの2年間で4倍になるっていうのはちょっとありえないんじゃないかなと思って、何で22億になるっていう話になったのかなっていう、何かすごく疑問で、5億から22億って、これなんなんですかね、今、大阪の万博でも、1.5倍ぐらいになっているぐらいな</p>

<p>末國庶務課長</p>	<p>ので。ちょっと数字的に大丈夫かなというかね、そんなに上がるってどういうことなのかなっていう、その辺のエビデンスが証明されていないというのが非常に気になるところでもあるし、また、少人数制になる場所のデメリットとメリット、統合した時の、メリットとデメリットがまだ平等に出されてないってというのが非常に気になるところで、そこは出していただけるんでしょうかね。複数にわたって質問したんで、どうかなと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>まず、耐震補強の工事が、いきなり5億3000万円から22億になったというご指摘についてですけれども、地域説明会でお配りした資料についていたかとは思いますが、耐震補強工事について、見直しをさせていただいた結果、耐震補強工事については、7億5000万円くらいではないかと試算させていただいております。金額が上がった要因は、これまではとにかく耐震化ということで検討させていただいたんですけれども、それだけではなくて、これからずっと学校を使っていくということであれば、長寿命化でありますとか、老朽化しているところありますとか、そういったところをきれいにしていく、そういったことも前提としておかないとおかしいんじゃないか、そういった部分も試算に加えさせていただいております。なので、長寿命化にかかわる部分が13.3億円。あと、工事のスロープをつけるとか、工事に必要な経費が1.4億円、合わせて22億円ということで、ご説明させていただきます。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>続きまして、先程いただきました、少人数のメリットとデメリット、それから統合した時のメリットとデメリットの検討ということでございますけれども、これまでも御説明申し上げておりますように、子供たちにとって良好な教育環境とは何かという観点から、この度の提案をさせていただいております。その中で、以前の地域の説明会でご質問があったので回答をしているんですが、平成14年ということで、少し古いんですけども、「尾道市立小・中学校の適正配置および通学区域について」という審議会答申がございます。この審議会答申の中で、「学校の学年の適正学級数は複数学級である。」ということが整理をされております。この整理に基づきまして、これも少し古いんですけども、平成23年12月に「尾道市立小中学校再編計画」というものを策定しまして、この中で、複式学級を早期解消するという、それから1学年複数学級化を推進するという2点について検討をして、これに基づいて再編を行っていくという方向性を示しております。ですので、やはり、この度の久保・長江中学校区の学校再編につきましては、特に土堂小学校では複式学級が生じる見込みがあるという中で、本当に子供たちがそうした環境で学ぶということがいいのかどうかということを、複数学級化を目指していくそのメリットについて、主に確認ということで検討させていただきました。その中でこの度の再編の計画をご提示させていただいたということでございます。</p>
<p>保護者2</p>	<p>ありがとうございます。地域の中から学校がなくなることで、住んで</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>いるエリアが衰退することに関してはどういった考えを持ちでしょうか。その部分ちょっと抜けていたので、教えていただけたら。</p> <p>これまで、市内の北部地域や、因島、瀬戸田地域で、統廃合を進めてまいりました。その中で、地域の教育力であるとか、衰退するのではないかというご懸念等もいただいてまいりました。ただ、私達はですね、これまでも議会とか様々な場面でこういったご質問を受けてきましたけれども、地域と学校は切り離して考える、まずは子供たちの教育環境をよりよいものにしていくという観点から、これまで市内全域の学校統合について説明をさせていただき、また、保護者や地域の方に苦渋の決断をしていただきながら、ここまで至っておりますので、土堂地域につきましても、地域からはそういった声も届いておりますけれども、まずは子供たちのよりよい教育環境を確保していく、そういうことから検討させていただいております。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>ありがとうございます。デメリットとメリットの話なんですけれども、少人数制になるメリットについてなんですけれども、近年、少子化によって、小さい学校っていうのが懸念されて統合していると思うんですけれども、世界的な動きでいうと、人数が少ない方もかなり成果が上がってきているそういうデータがいくつか論文で見られるんですけれども、そういったものは検討されて、どこが少人数制で学力が低下するとか、デメリットなのかっていうところが、よく分かっていないというか。その辺、何かあるんですかね。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>学力面から申し上げますと、小規模校、例えば複式の学級、それから、例えば大規模の学校、これはどちらが優れているっていう結果は出ていません。ですから、それは集団の力というか、先生方のご努力というか、子供たちの努力というか、そういうことの表れだと思っています。少人数というのがどこまでを定義するかということもあると思うんですけれども、20人以下だと少人数になってくると思います。ですけれども、例えば20人の集団だったら市内にもたくさんあります。20人だったら4人班を作れば5グループできますから、様々な意見の交換ができますけれども、私達が言っている複式学級になりますと、2学年で16人以下ということになります。そうなってまいりますと、単学年での集団作りといいますか、例えば集団スポーツも含めてですね、なかなか学びが広がっていかないと、そういったことをこれまで検討させていただいて、市内全体で複式学級の早期解消ということまでさせていただいているという経緯がございます。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>人数が少ないと、対話教育にちょっと差し支えがあるんじゃないかというふうなご意見かと思うんですけれども、これって、折角タブレットを皆さん持っているわけですから、よその学校だとか、いろんな少人数制の学校とかと一緒に議論をするか、メールとかですね、インターネットを通じた共同体というかグループを作って、対話を深めていくっていうことも、アイディアの1つとしてあるんじゃないかなと思うの</p>



<p>小柳学校教育部長</p>	<p>で、特にデメリットの的なものにすぐに直結しないのかなあというふうに思ったりするんですけども。その他に何かありますか。何かデメリットの的なもので。</p> <p>デメリットはですね、先程言ったように、やっぱり授業の中の学びが広がらないということや、いろんな行事をする中でも、やはり大人数、ある程度の集団がいた方が、活気も出たり学びも広がるということでもさせていただいております。先程のタブレットを使ってということですけども、今はタブレットを持っていますので、特にコロナ禍の時には、市内の学校や、県外の学校等とインターネットでつないで情報交換なんかしておりました。この3年間でやっぱり浮かび上がってきたのは、直接的な人と人とのコミュニケーションをどれだけしていくことが、子どもたちの将来にわたって重要なのかということが、この3年間の閉ざされた世界の中で、学校現場とすれば、今後やはり元に戻して、子供たちに豊かな経験をさせていかなければいけないということに立ち戻っておりますので、当然、タブレットを使って、よその学校と遠隔授業などをする 것도考えられますけれども、でもやっぱり、ある程度の集団の中で、子供たちが直に人と人との触れ合いやコミュニケーションを図っていく、そういったことは重要なのではないかとこのように考えています。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>ありがとうございます。他に誰かいれば。時間をとってもしけないんで。</p>
<p>保護者 3</p>	<p>失礼します。今日はありがとうございます。月末ということで、仕事が忙しくて来れないとか、出張行ってるから今日ごめんねっていうことで、何人か本当は来たかったんだけど、来れないって言う人がいるっていうことだけは伝えさせていただこうかなと思っております。質問がいくつかあるんですけど、まず最初にですね、学校区について前から言わせていただいているんですけど、土堂、長江、久保を合併をした時、学校区が184号線の南詰めの祇園橋の辺から大橋の入り口の所までの海岸線。北はプレスのちょっと北ぐらいまでですかね。これで山波小学校が入ってくるということになると、祇園橋から、ずっと行って東尾道の消防署の辺りですね、だと思います。北はプレス工業のちょっと北、市民病院のちょっと上ぐらいの学校区になると思います。僕らは何年かすると、小学校を卒業して中学校に行って、それも卒業していく通りすがりの世代になるんだと思うんです。僕らが何のために反対とか踏ん張っているかっていうと、これから先、育児をしていく近所の人とか、そういう人らにいい環境を残していきたいっていうところが多くある。だから今の世代でどうこうっていうよりは、次の世代が子育てしやすい環境をなるべく保っておきたいっていうのが僕の中でのすごく大きくあるところです。今、学校区の話をしましたけど、今計画に上がっている学校区で、1つの小学校で1つの中学校という規模、学校区の規模に対する学校がこれだけでいいのっていう、適正配分というんですかね、このことについて、尾道市教育委員会としてはどのよう</p>

小柳学校教育部長	<p>に考えておられるのかなっていうところをお伺いしたいと思います。</p> <p>まず小学校ですけれども、3つの小学校が1つになって、だいたい2クラス規模がしばらく続くであろうということです。将来的な推計を見ていただいた時に、最後の年に1年が1クラスになるっていうところもありましたけれども、基本的には2学級規模になっていくと思います。山波小学校については、今回統合対象にはなっていませんので、単独で残っていきます。山波小学校はしばらく2学級規模で推移していくことが見られています。中学校ですけれども、長江中と久保中を統合した場合に、全員上がって欲しいんですけども、全員上がっていただければ4学級規模でスタートしますけれども、だんだん減少していくので3学級規模ということで、中学校とすれば、割と運営のしやすい学級規模になっていくというふうに思います。ただ小学校から中学校に、公立学校を選ばれない方もいらっしゃると思いますので、いくらかその辺は考えていかなければいけません、少なくとも3学級規模で当面は推移するというふうに思います。中学校区で考えた時に、距離的には2つが1つになりますから当然広くなってまいります。ですから、通学対策を考えていくということでこれまでご説明させていただいています。市内全域の中学校区を見てみますと、やはり1小1中の所はそんなに広くない校区でありますけれども、例えば御調でありますとか、瀬戸田でありますとか、そういった所については、やはり広い校区の中から通っていただいているという現状があると思います。私達もこの2つの中学校区を合わせるものがどうなかっていうことも、検討させていただきましたけれども、やはり小学校の統合を前提として考えた時には、小学校と一緒に学んで中学校が別々になるというのは、やはりちょっとおかしいのではないかとということで、これは中学校の統合も含めてということで、検討させていただいたということでございます。</p>
保護者3	<p>何点か腑に落ちない箇所があります。まず1点が、今、計画段階で山波は入ってないからノーカウントにして下さい、校区は祇園橋から尾道大橋下までの土堂、長江、久保の校区で考えて下さいということなんですが、山波小学校の人数が減った場合には、そこが対象に入ってくるということですよ。複数の学級が確保されなくなった場合には、山波小学校も今計画に上がっている小学校に組み込まれてきますよっていう話なんですよ。だったら、広く考えていかないといけない話じゃないのかなと、僕の中では思います。僕は、教育委員会として、この校区が適切であるかどうかということをお伺いしました。それで、御調や校区が広いところと比べてもそんなに遜色ないと言われるんですけども、一応市街地で、駅のある校区で、最寄りの土堂小学校を移動してくださいというような段階なんです。これが街に与える影響っていうのはものすごいじゃないの、っていうふうに、我々保護者や地域の人間は思うわけなんですけれども、それについての納得いく答えがまだ出てないというのが僕の感想です。なので、ちょっと納得できないっていうところが今の現状の認識です。それについて、何かお答えいただけると多少納得できるかも分かりませんが、多々納得で</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>きない所があるので、何かありましたらどうぞ。</p> <p>山波小学校につきましては、今のところ統廃合の対象にはなっておりませんので、今回の計画の中には入っておりません。ただ将来的に、市内全体で今急激に子供の数が減っていますので、市内全体の中で、やはりどの学校も考えていかなければいけない時期が来るとは思っております。教育委員会として今回の中学校区が適切であるかということですが、私達は検討させていただいて、やはり適切であると判断したから、こういうふうに統合計画を皆様方にお示しをさせていただいております。街に与える影響については、先程もご質問いただいておりますけれども、当然納得いただけないとは思いますが、私達は街づくりと教育環境の整備というのは、まずは子供たちのよりよい環境整備ということで、これまで議会にも提案し了承を得ていて、進めさせていただいているということですから、今回、この久保・長江中学校区についても、そうした考えの中で提案をさせていただいております。</p>
<p>保護者 3</p>	<p>この問題はですね、結構いろいろ僕は思うところあるんですが、長くなるのでちょっともう端折っていきなと思ってんですけど、僕は子供を作るときにですね、将来子供が小学校に上がったならそこに通わせようねとか、中学校はそこだよねっていう、将来設計の中で、学校が遠いと通わせにくい、子育てしにくい環境がどんどん作られている中で、今回の更に子育てしにくいイメージを与える政策というのはちょっと納得できないなというところが多々あります。これについては、もうこれ以上の対応がいただけないようなので、次だと思うんですけども、新しい小学校、新しい中学校が令和7年開校予定、令和9年4月に新校舎使用開始ということがあります。これ、開校しても校舎が出来てないよっていうことを言っているんです。これも、ずっと前から校舎ができてから開校しましょうよ、ってずっと言っているんですけど、なぜか言うことが伝わってないのか、何の変更もなくですね、この小学校は居ながら耐震というのは、工事中の騒音や、車が入るので居ながら耐震はできませんよっていうふうに説明されたと思うんです。でも、新しい学校では校舎を新設しています。学校は開設しましたが校舎はできていませんよ、っていう状況なんです。これは安心安全なんですかっていうのが以前の質問であったと思うんですが、未だにスケジューリングは解消されていないというところです。なんて言うんですかね。結構、敷地内でガタガタやっていると、子供たち結構、僕は、安定した気分で落ち着くことはできないのではないかなと思うんです。動きも制限されますし、ここからここまでは行っちゃいけないよってなると、どうしても建築している期間っていうのは影響がすごくあるんじゃないかなと思っています。新しい小学校については、道を挟んでグラウンドに作りますっていうことだったんであれなんですけど、にしても諸々の影響が出てきますよねっていう話をしているんですけど、長江の人はどっちみち建てる時には校舎に居ないといけないとか、何かそういうようなお話だったと思うんですが、ここをスケジューリング変えるだけでも、計画ありきじゃないんかって言われて突っ込まれどころになっ</p>

<p>末國庶務課長</p>	<p>ていると思うんで、改善していただきたいなと思うんです。それについてはいかがでしょうか。</p> <p>令和7年に統合するにあたって、令和9年の校舎新築を待つて開校するべきではないかというご意見だったと思います。このことについては、今の状況ですね、仮校舎ということで長江中学校の中に長江小学校があるわけでございますけれども、そういった状態を解消しようと思った場合、引っ越しの回数が増えるということに考えています。長江中学校の中に小学校が同居しているという状況ですので、中学校には部活動などで非常にご迷惑をおかけしているような状況です。そのような状況の中で、校舎ができる令和9年を待つということになりますと、例えば中学生の部活動に影響が出るということで、いったん開校して建築を待つ方が、負担が少ないということでご説明を申し上げてまいりました。</p>
<p>保護者 3</p>	<p>では、クラブ活動が原因で、全校生徒、敷地内で建設が行われている中、移動する方がいいという判断ですかね。私は、建設中はなるべく離れた方がいいんじゃないかなという考えのもとで今の質問をさせていただきました。教育委員会としては問題ないということですか。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>工事期間中のことについてでございますけれども、工事期間中は、先程もご指摘がありました通り、長江中学校について言えば、グラウンドで工事をしている部分と、子供たちが生活している部分について積み上げをさせていただきました。子供たちに全く影響がないかということで言うと、全くないというわけにはいきませんが、敷地を分けることによって、その部分についてはかなり軽減できるのではないかと考えています。</p>
<p>保護者 3</p>	<p>この問題については取り入れていただけないということがよく分かりましたので、次の質問にいきたいと思います。すいません長くなって申し訳ないです。さっき通学補助について、路線バスを使うというふうにあったんですが、今現状ですね、路線が北高の路線とかぶっていて、特に雨の日なんかは、ものすごい駅前バス待ちがあるんです。3便ぐらい満車で運んでいるような状況があるんですが、満車のバスはですね、北校で皆を下ろすんですが、満車なので、途中で乗ろうと思っても、満車なので乗れませんよというような状況になっています。現状の路線バスはそんな感じですよ。雨が降ったりとかすると、特に北高生との、なんて言うんですかね、バスの奪い合いじゃないですけど、そういうような状況になっていますので、長江と久保に路線バスをってなった時に、ちょっと現実的でないなと思ったので一応意見として言わしていただいて、これについては、おのみちバスさんや中国バスさんの都合もあるでしょうから、教育委員会さんに言ってもしょうがないので、一応こういう状況ですよということをお伝えさせていただこうと思います。すいません長くなります。教育長が校長先生をやられていたので、最近、よくうちの子供が今4年生ですが、2年生の2学期まで、こ</p>

この下の小学校に通ってしまして、その時どうだったかなとよく思い出します。うちの子だけじゃないんですけど、とにかく早く学校に行きたい、開門と同時に学校に入りたいんだ、7時半に学校が開くんよ、それまでに行きたいんよ、誰よりも早く学校に行きたいんよ、何でお前は早う行かにゃいけないのんな、もっとゆっくり寝とけばええじゃん、いや僕は早く行きたいんぞ、連絡帳書いてちょっと遊んだりとかして、その時間がものすごく楽しいんだ。僕は、不純な心にまみれて小学生の心を失ってたというか、学校ってこんなに楽しかったんだと思って、ちょっと反省をしたところなんです。学校の施設がより良くなるっていうのは、もちろんいいんだと思うんですけども、学校が楽しくて早く行きたいっていう学校作りは、もうおいそれとできるようなもんじゃないです。特に学校が近くにならなったら、近くに行く手段もないです。なお、土堂がここにあった時以上のものっていうのは、僕は想像できません。だから、いろいろ建物の話をずっとされますけれども、子供たちが土堂小学校で学んできたという、本当にいい子が多いです。すごく学校好きです。そんな新しい小中学校ができるのかというところがものすごく不安に思います。その点について、安心できる一言というか、いただければ。

宮本教育長

私も平成30年度から、土堂小学校の校長を3年間させていただきました。確かにおっしゃるように、当時はもっと早かったかも知れません。7時ぐらいには、あそこの石段の門の所にですね、かなり的人数の子供たちが登校してきてまして、開門と同時にたくさんの子供たちがもう走ってですね、校舎の方に向かうというそういう光景を毎日見ておりましたし、子供たちがその後グラウンドに出てきて遊んでいるんですけども。とても学校が好きなんだと、いや凄いい子供たちだなと、そういった子供たちの期待や保護者の皆さんの期待になんとか応えないといけないなというそういう思いです。3年間毎日教育活動をしておりました。今、新しく統合した学校が土堂小学校のような、子供たちが本当に朝早く起きて、楽しい学校に早く行きたいと思えるような学校になるのか心配だと言うお話をされました。当然のことだと思います。そういったご心配は、多くの方がお持ちじゃないかなというふうに思います。これまでも、私としてはですね、土堂小学校のいいところ、これをしっかり新しい学校にも生かしたいと思って、もちろん、久保小学校や長江小学校のいいところも生かすわけですけども、土堂小学校のいいところ、これをしっかり生かして、そして、地域のいいところたくさんありますので、地域の宝や地域の方のそういった思いをしっかりと生かして新しい学校を作りたい、そういった思いでいろいろとご提案をしてみました。もちろん、統合してですね、そういったご不安はあるかと思いますが、私としては、子供たちがこの学校で楽しく学んでいるよと、保護者の皆様に帰って、家で楽しいんだというふうに言ってもらえる、そういう学校を作りたいと強く思っていますし、教育委員会の中でもですね、新しい学校の教育内容を提案させていただくその中身を考えると、当然それを目指して、いろいろ調べて考えてご提案をしておりますので、そういった学校を保護者の皆様、地域

<p>保護者 3</p>	<p>の皆様と作っていききたいと、そう強く思っています。</p> <p>決意はよく分かりましたが、いまいち、やっぱり、今日のお話なんですけど、学校区が広すぎて、学校区が広すぎるわりに学校が遠いと、いろいろあるんですが、土堂小学校以上の学校っていうのをちょっとイメージできないですね。ちょっとまだやっぱり納得できるだけの議論が進んでいないと思っています。私は、なんて言うんですかね、やっぱりいろんなところで話が詰めてないというか、学校の人数も大事だろうけど、やっぱり地域の規模に合わせた設置っていうのが大事だと思いますので、いま一度検討していただきたいと私自身は思います。ちょっと長くなりましたのでちょっと僕の質問は以上とさせていただきます。以上です。</p>
<p>保護者 4</p>	<p>すみません。今の保護者の方が言われてたのとちょっと似ているんですが、今ちょうど出ている学校再編案についての図なんですけど、前々回の地区の説明会の時にですね、新しい校舎は表示はしていただいているんですが、新しい校舎だけではなくて、その新しい校舎を作っている時に学んでいる仮校舎も同じ図に表示して欲しいとお願いしたんですが、それが前回出てきてなくて、もしかしたら今日出てくるのかなと思ってきたんですが、学んでいるそばで校舎を建てているよっていうのをきちんと見たいです。違う図面で見るとはあったかも知れないんですが、これだけ近くで建てている、そこの近くで崩しているっていうのを見たいです。新しい校舎ができている図はあると思うんですが、実際建てている時はそのひと回り大きい土地が使えない土地、子供たちが近づけない土地だと思うんです。それは一緒に表示していただくことはできないんでしょうか。新しい校舎を建てている時に、どこの仮校舎にどれだけの近さで学校に通い、勉強するのかっていうのをきちんと見たいです。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>まず、長江中学校の既存校舎を活用して勉強するということになりますので、図面にお示しすることは今できないんですけど、(スライド画面を示し)こちらに長江中学校の校舎がございまして。そして、今示させていただいている、長江通りを挟んで反対側へ校舎ができる。そして、ぎりぎりの面積で工事するわけではございませんので、何メートルかは、今お示しすることができないんですけど、工事をする場所や資材置き場については使用ができなくなります。そして、残った場所で、小学校の授業ができる場所を確保することができるかということでございますけれども、今数字を申し上げられませんが、残った面積でも、小学校の基準面積を満たすという認識でおります。以上です。</p>
<p>保護者 4</p>	<p>すみません。引き続いてなんですけど、うちの場合は4年生なので、今説明していただいた学校に通うのは1年間になります。その後、新しい中学校に通うことになりますので、今の久保中学校の敷地にある仮校舎と現校舎はどちらになるんでしょうか。</p>

末國庶務課長	(スライド画面を示しながら)久保小学校の現在の校舎は、この下の3分の1あたりのこのあたり、右側が久保中学校の校舎でございます。
保護者 4	ありがとうございます。それを前々回の説明会の時に、同じ図面に表示して欲しいとお願いしているので、ぜひその資料を出していただきたいです。今この場に来ている方にしかそれは伝わっていないので、自分の子供たちが、どの工事をしていて、どの近くで学校の勉強しているのかを、きちんと示していただいきたいなと思います。お願いできますでしょうか。
末國庶務課長	資料につきましては、本日参加されていない方にもお配りさせていただこうと思っております。
保護者 4	よろしく申し上げます。すいません。以上です。
保護者 5	本日はありがとうございます。先程の質問で、9月の予算が通った後に、変わらないこと、変わることに、それを知りたいということについてなんですけれども、9月の予算が通った後、提示されたスケジュールで統廃合を進めるっていうのは、もう決定なんですか。それとも、各小中学校や各地区の状況によっては、例えばスケジュールが延びたり、統廃合そのものの内容が変更になるという可能性はあるんでしょうか。そちらについて知りたいと思います。お願いいたします。
小柳学校教育部長	私達は令和7年4月開校、令和9年4月から新校舎で運用するというので提案をさせていただいております。当然、今後行われる市議会において、同様の内容で提案させていただきます。ですから、議員の皆様には、私達の提案した内容で議論をしていただくわけですから、このスケジュール感も含めて提案をし、ご了承していただければ、スケジュールとすれば、やはりこれを目指してやっていきたいというふうに思っています。ですから、今のところ、もしご承認していただければ、余程のことがない限り変更というのはなかなか難しいのではないかとこのように思っております。
保護者 4	ありがとうございます。すいません。そのスケジュールのことで質問が出たところで、そのスケジュールがあって、それを教育委員会は進めていくというような形だったんですけど、2021年の9月18日付けの尾道新聞で、市長は、久保・長江・土堂3小のあるべき姿は、3年半後にこだわらず、地域から十分な理解を得ながら話を進めていきたいというふうにおっしゃっています。なので、今言われたスケジュールでいかないといけないっていうことは、絶対ないと思います。まず、地域からの十分な理解を得ながらと市長も言っていますので、そこをきちんと十分な話し合いをした上での決定であるべきだと思いますので、前回の説明会の時にも、私、聞きましたけど、そのスケジュールありきで全てを動かしていくというのは、勝手ではないかなと思いますが、どうでしょうか。

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>やはり計画を皆様にお示しする時には、ある程度のスケジュール感というのはお示ししながらやらないと、どこがゴールなんだということになりますので、今回もスケジュールについてはお示しさせていただいております。市長の発言についてでありますけれども、私達は、教育委員会として仮校舎に移転をさせていただいた時に、4年後というのを1つの皆様方とのお約束をさせていただいて、この令和7年4月にどういった形になるかっていうのを示させていただくというお約束をした上で、仮校舎に移転をしていただいております。ですから、この仮校舎移転をしていただいた後、この4年間の中で議論をし、昨年11月22日に発表させていただいたということになります。市長は、地域の理解を十分にということをお話しているのを、私も当然知っていますし、聞いています。そういった十分な理解を得るために、何度も皆様方の声を聞かせていただくということで、保護者の説明会でありますとか、地域の説明会を開催させていただいて、私達の趣旨も話してさせていただいた上で、意見をたくさん聞かせていただいております。しかしながら、ある段階では、やはり教育委員会としてどうすべきかということの結論を出していかないとはいえないとは思っておりますので、ただ、そこに至るまでは、皆様方の声をしっかりと聞かせていただきたいというふうに思っています。</p>
<p>保護者4</p>	<p>ありがとうございました。すみません、続けて申し訳ないんですけど、先程言い忘れていたので、新しい校舎を作っている時にどこで勉強するんですかっていうので見せていただいたから納得するというわけではなく、逆に、その近くで工事をするので、納得できないという意味です。それを見せてから納得すると思われたら困るので、一応お伝えしようと思ったんですけど。はい。すみません。後ですね、ごめんなさい、4年間の約束でということで、仮校舎に上がっていただいたとおっしゃるんですが、そもそも上がる約束もしてないですし、4年間という約束もしてないですし、気づいたら上がらされていて、4年間だよって言われている状況なので、毎回4年間という約束でおっしゃるんですが、約束はしてないです。その後の、仮校舎に上がった後ですかね、市長が多分記者会見なのか、インタビューなのか、その4年間は延びる可能性はありますと、市長もおっしゃっていると思います。今回のスケジュールに関してなんですが、前回か前々回、ちょっと覚えてないんですけど、地区の説明会の時に、そのスケジュールでいくので、そのスケジュールをぜひ通さないといけないと思いますっていうお話だったと思うんですが、であれば、今ここで話している時に、令和7年度の開校は全く納得していないとずっと言っているんですけど、その話は全く聞いていただけてないように思います。何度も同じことを言うんですが、今、4年生の子供はですね、6年生の時に仮校舎から仮校舎に移転しまして、中学校1年生の時に仮校舎で入学しまして、6年生の1年間は、学んでいるそばで新校舎を建てています。新校舎にですね、中学校2年生の時に移動した後、その後2年間は解体工事を行っているそばで、勉強して卒業していきます。このスケジュールで納得と言われても</p>



川鱈教育総務部長	<p>ちょっと申し訳ないんですが納得はしがたいです。なので、議会に通すのでこのスケジュールで通しますっておっしゃっているんですが、であれば、先に、そこで議会に出すかどうかの検討をもっとしていただければと思います。以上です。</p>
	<p>今のご質問というかご要望でございますが、我々もですね、最初、どこか建築している間に、新たな仮設とかいろんなことも考えました。けれども、やはり適当なところがないということで、申し訳ないですけども土堂小学校さんにあっては千光寺の公園の方に上がっていただいたという経緯もあって、やはりそういった適地がないという前提があります。その中で令和7年度に新しい学校を開設し、9年度に新たな校舎で学んでいただくという案を出したんですが、これは先程申しましたように、中学校と小学校が今、長江中学校では同居しています。中学校はどうしてもグラウンド面積というのは広く要ります。先程言ったように、部活の動きとか、やはりそういったことで、基準面積というのは大きいんです。ですからその中で、校舎を建設することは、現在の中学生に大きな負担を与えるのではないかとということで、ベストな選択ではないかと思っておりますけれども、まずは7年度で小学校は小学校、中学校は中学校という形で開設をさせていただく。その中で、長江中学校のグラウンド側に建設をさせていただく。そうすると、グラウンドの小学校の面積は基準面積が狭くて大丈夫ですから、一応基準上当てはまる。ただ基準上当てはまるだけであってですね、確かに言われたとおり、グラウンドの横では工事をしているという状況になります。中学校も同様です。ですから、ベストな選択ではないけれども、これが、今我々が考えられるというか、現状の中で選択できる最も良い選択ではないかということで、こういう提案を差し上げたということですので、なかなか納得はいただけないかと思っておりますけれども、土堂小学校さんを始め、3小学校さん、2中学校さんの統合というところを考えるとこれが最適な方法ではないかということでお願いをしているということでございます。</p>
保護者6	<p>具体的な質問なんですけれども、中学校に迷惑がかかるっていうフレーズがさっきから出てくるんですが、どういうふうに迷惑がかかるんですか。</p>
川鱈教育総務部長	<p>当初はですね、まず中学校を巻き込まずに3小学校のみでということで提案をさせていただいたり、我々もいろいろ考えてきた。しかしながら、仮設校舎が、久保中学校、長江中学校の所にそれぞれ行くことによって、中学校も含めた学校のあり方というものの検討を始めました。それで現実的に今、小学校と中学校が同居している久保中学校、長江中学校の子供たちの姿、これも見ながら、今の提案にたどり着いたという状況でございます。そのような中でですね、やはり中学校というのは非常に部活動ということも大きいです。今のテニスコートがどこにあるのかとか、そういうことも見ていただければ、やはり中学校側の事情というのも考慮するし、小学校側の事情も考慮した上で、今の我々が提案し</p>

<p>保護者 6</p>	<p>ている案がベストとは言いませんけれども、よりよい案であろうというふうに判断をしたということでございます。</p>
<p>川鰭教育総務部長</p>	<p>そうじゃなくて、どう迷惑がかかっているんですか。具体的に教えてください。部活動ですか。</p>
<p>保護者 6</p>	<p>はい。小学校の仮設を中学校に作っていただく時にですね、中学校側からも様々なご意見が出ました。やはり、まず部活動のことも出ました。実際、中学校はテニスコートを潰して小学校の仮設校舎を作っていたというのがあります。また、時間割とかも違いますので、子供たちの動きも大きく変わるといったところで、やはり中学校側の様々な影響、小学校が来ることによる影響とかいうことも、様々なご意見を当時いただいたと思っております。そういった中で、ご迷惑という表現が適切ではなかったかもしれませんけれども、それぞれ我慢はしていただいているというか、配慮はしていただいていると思っております。</p>
<p>川鰭教育総務部長</p>	<p>小学校と中学校が一緒に生活しているんだから、それは織り込み済みですよ。テニス部のコートが移動して、テニス部は迷惑しているんですか。</p>
<p>保護者 6</p>	<p>今はですね、グラウンドがいわゆる今の状態のまま使えます。今度、新たな校舎を使う時にはですね、やはり大きな影響があるだろうというふうには思っております。</p>
<p>川鰭教育総務部長</p>	<p>思われてるんですね。</p>
<p>保護者 6</p>	<p>グラウンドの基準面積を先程申し上げたように、中学校と小学校では違います。ですから、やはり基準面積的にいえば、当然中学校の方に大きな影響が出るというふうには考えております。</p>
<p>川鰭教育総務部長</p>	<p>分かりました。教育総務部長さん、先程3小の統合からってということを言われましたけど、そもそもスタートは、3小ではなかったんですよね。ご存知ですか。</p>
<p>保護者 6</p>	<p>いつの時代から？</p>
<p>川鰭教育総務部長</p>	<p>いつの時代って、この議論が始まったスタートの時です。</p>
<p>保護者 6</p>	<p>我々はですね、まず耐震化をしようとして考えた。耐震工法について様々な工法を考えただけでも、やはりそれが最初にはできないというのを得た。今度は新たな手法が見つかったので、それを耐震化の手法としてどうだということで、実際細かな検討には入った。しかしながら、その時には居ながら施工ができないということの中で、教育環境に大きな影響を与えるということで当時1回断念をしております。そのよう</p>

	<p>な中で、同様な問題を抱える久保・長江の両小学校との統合問題も含めて考えてきたというふうに理解しております。</p>
保護者 6	<p>正確には久保は別だったんですよ。土堂小学校を長江へ持っていくという話だったと思うんですよ。いつの間にか3つの学校の統合に話が変わってるんですよ。調べてみてください。今、首を学校教育部長さん振られていますが、最初から3校じゃないですよ。</p>
川鯨教育総務部長	<p>そのような提案をしたという記憶はございません。議論はあるのかも知れませんが、我々からすると、久保と長江と土堂をそのように分けて考えるという提案をしたことはないと思います。</p>
保護者 6	<p>議会の議事録見てください。多分載っていますから。最初から3校っていう話はなかったと思います。まあいいんですけど。それとちょっと話を変な方向に行ったのでごめんなさい。先程路線バスの話があったんですけど、前回の時に雨が降った時とか、前々回かな、雨が降った時に路線バスは多分乗れませんよっていうことを、いっぺん乗ってみてくださいと教育長に言ったんですけど、乗られましたか。</p>
宮本教育長	<p>乗っていません。ただ、いろんな方からですね、雨の日の状態については、お聞かせいただいておりますし、私も毎日、駅前を通勤していますので、雨の日も、暑い日もですね、子供たちがここで乗るとしたらどうだろうかという、そういう意識では毎日見させていただいています。確かに雨の日は傘もありますし、中学生高校生がバスを利用する人数も多いということも見ておりますので、乗ってはいませんが、そういう大きい課題があるなということは認識しておりますし、それを今後どういうふうにしてそれをクリアしていけばいいかっていうことは考えているところです。</p>
保護者 6	<p>今検討されているってということですか。</p>
宮本教育長	<p>路線バスを活用した通学対策については検討しているところです。</p>
保護者 6	<p>解決の道筋が立つかもしれないって理解してよろしいですか。</p>
宮本教育長	<p>まだ道筋が見えているかって言われると、そうは今の段階では言えませんので、どうしたら解決できるかなというところを考えているところです。</p>
保護者 6	<p>ありがとうございます。ぜひ乗ってみてください。本当に小学生が乗れるかどうか分かりますと思います。よろしくお願いします。</p>
保護者 3	<p>はい。すいません。度々、私の記憶が確かだったら、平成22年の学校再編案で、土堂・長江合併案、久保・山波合併案、中学校の学校区に統合するっていうような内容であったかと思います。それが生徒数と</p>

	<p>か、生徒数の推移を考えると、2つの中学校を合併しましょうっていうふうに突然出てきたんですよ。私の子供は4年生ですけど、小学校に上がる前の11月の中頃だったと思うんですけど、急に合併案が出てきて、聞いてないよってって現在に至るということで、千光寺に上がるっていうのも、最終的にしまなみ交流館で、同意していただけますか、みたいな話になっていたんですけど、その時には、もう工事を着手されていたというような状況であったのを記憶しております。はい。ちょっとさっき話し足りなかつたので、もう1個言わせていただきますと、駅のある学校区で土堂小学校が最寄りの学校区であると。他の市を見るとですね、三原市のだだっぴろい所は、暮らしのために使われている土地になっていますし、グリーンネン入野っていう分譲地があるんですけど、あそこは入野小学校を中心とした、学校の造成地になっています。他の市町は生産人口の抱え込みっていうのをすごく考えてやられているのに、尾道市はどんどん教育を取り上げて、育てにくい環境にどんどんどんどんなっているのがすごく市民として悲しく思います。以上です。</p>
<p>保護者7</p>	<p>暑い中ありがとうございます。ちょっと今、教育委員会の小柳部長さんからの答弁の中で一番ショックだったのが、地域と学校は切り離して考える、街づくりと教育環境は切り離して考える、これをすごく強調して言われたんですね。それが私はすごくショックです。今回の統廃合問題っていうのは、もう尾道市全体にとっても大事な街づくりの大きな柱だと思います。64億円と言っている問題を、街づくりは地域とは関係ないところで考えていこうというスタンスで、もうびっくりしました。ここで聞きたいんですが、平谷市長のお考えでしょうか。そして、宮本教育長のお考えでしょうか。ご答弁ください。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>教育委員会としましては、先程私が何回も申しました通り、これまでの全市内的な学校統廃合については、街づくりと新たな学校教育環境作りというのは、よりよい教育環境を作っていくという観点から本当に地域の皆さんは苦渋の選択をしていただいて、今の学校配置になってきております。当然私達は、教育委員会として物事を進めておりますけれども、議会に議案を提案できるのは市長ですから、市長の了承も得ながら、私達はこれまで進めてきたという認識をしております。</p> <p>(地域は環境ではないのですか、と言う声あり)</p>
<p>保護者7</p>	<p>では、これは教育長も同じお考えですね。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>街づくりと学校っていうのが密接に関係があるということは私も承知しておりますし、地域の皆さんがですね、学校がなくなるっていうことの影響の大きさ、これを思っておられるっていうのもすごくよく分かりますし、本当にできることならここに学校が残る、素晴らしい地域ですしね、駅に近いですし、利便性もいいところですから、そういう素晴らしい場所に学校があるっていうのはいいことだなというふうに私</p>

<p>保護者 7</p>	<p>は思っているところはあるんですが、ただですね、災害警戒区域にかかっているっていうことはですね、やはり将来にわたって、災害が起きる可能性がありますよということですので、やはりそういう場所にですね、これまでなかったから今後将来にわたって災害がないとは言い切れません。ですので、断腸の思いでですね、より安全な場所に学校を作らざるを得ない。そういうふうに考えております。</p> <p>いつ起こるか分からない災害の方を重要視されているようですが、再三保護者の皆さんは、通学路、今ご提案されている長江通りの通学路、毎日子供たちがランドセルを背負ってバスがもうギリギリ通っている脇を通っていく、その生命の危機の方がもっともっと大きいと思うんですけど、そんないつ起こるか分からない災害を前提に考えられて、毎日の子供たちの命が脅かされている、そういうことを、ないがしろにして、スケジュール感ありきで、今進められていることにとっても不信感を抱きます。もう本当にご答弁の内容が残念で仕方ありません。もうひとつ、土堂小学校は、他の学校と違いまして、地域の説明会でもお話がありましたように、学校運営協議会という、法の下に設定された委員会があります。コミュニティ・スクールに県下で初めて認定されたわけですから、コミュニティ・スクールを蔑ろにして、先程のご答弁でしたが、地域と切り離して考える、そんなことがあるんですか。学校運営協議会の意味がないじゃないですか。教育委員会のこの前の案ではこれから学校運営協議会をどんどん増やしていく、学校に置いていくっていうふうに提案されておりましたが、今、土堂小学校に学校運営協議会があり、コミュニティ・スクールを通して存続している中で、学校を地域の声も聞かず、保護者の声も聞かず、耳を傾けず、スケジュールを変更する気持ちも示されず、どうしてそういう学校運営協議会があるこの学校の教育状況をもっともっと考えてくださらないでしょうか。不思議ではないです。この前の地域の説明会でも、学校運営協議会の方が蔑ろにされているっていう話が出ましたが、もっともっと、地域と保護者と先生方が一緒になって良い教育環境をつくる、そういう建設的な意見を交わす場があっていいのではないかなと思うんですが、いつもいつも教育委員会の皆さんは意見を聞いてくださる、聞くっていうか聞く振りをされるだけで、それに対して、前向きの変更をされる気持ちは全くないっていうのが情けなくてしょうがないです。本当に新しい大きな学校をつくるというスケジュール感ありきで、本当に小柳学校教育部長さんがスケジュール感って言われますが、そのスケジュールがそんなに大切なことなんですか。私達地域も保護者も子供たちも、本当にこの土堂小学校の存続を願っています。それにもかかわらず、先程教育総務部長さんは、ベストではないと思いますがって言われました。ベストの選択をしてください。ベストな選択ができないのに進めてもらうのは、もう本当に私達情けないです。それを本当に私達が認められないっていうことを、今日しっかり肝に銘じて帰っていただきたいと思います。それとあと1点、教育総務部長さんが、学校の施設の新しい学校の設計のことにに関して、まだ完全ではなくて、表現としてはイメージだって言われましたよね。イメージしかできてないものを、9</p>
--------------	--

	<p>月議会に予算を上程されるんですか。地域の説明会で、私、9月議会では予算案の上程はされないですよって、その時に確認しましたが、そのときにお返事はされなかったんですね。しないともすると確か言われなかったと思うんですが。今のようなイメージで進められている学校教育の内容についても定かではない。そして、新しい学校の内容や建築の内容、教室とかそういう設計についても、イメージだけでまだ出来上がってない。そういう段階であと1ヶ月、9月議会に上程されるのに、間に合うんでしょうか。これでは上程していただくと、私達は困ります。そして皆さんが9月議会では予算が通ると、何が変えられないのかとても不安に思われていると思います。そんな中で、これを9月議会に上程されるというのは本当に納得いかないの、ここで私はしっかり意見を言いたいと思います。そして、この案件に関しては平谷市長がもっとしっかり市民に対して発言して、お言葉をくださらないと納得できません。今、小柳学校教育部長は市長の考えも一緒だって言われましたけど。それでしたらこんな64億円もかける大きな案件です。市長が自らマイクを持って市民に訴えかけてほしいと思います。これは切にお願いいたします。今プレスの方いらっしゃると思いますが、これはしっかり新聞に記事として書いてほしいと思います。これは本当に教育委員会と私達の問題ではなく、街づくり全体の問題です。教育委員会が街づくりと地域とを切り離して教育問題を考えているっていうことはとても大きな問題です。これをしっかりプレスの方も書いていただきたいと思います。よろしくおねがいします。そしてさっきのイメージの話ですが、教育総務部長さんにご答弁をお願いします。</p>
川鱈教育総務部長	<p>イメージと言ったのは、仮に予算を出しますということになると、基本実施設計に関する予算です。これは今我々が持っている様々なイメージというのがいいのか、それとも腹案というのがいいのか、これを提示しながら、開校の準備委員会とかそういったものを立ち上げますので、その中で施設要望とかこういう形にして欲しいとか、子供たちにこうして欲しいとか、また学校現場からも様々な意見があります。そういったものをきちっと吸い上げて、それを設計段階に反映させていくという状況ですから、先程私が言いたかったのは、これでカチッと固まったものなんですかという質問に対してお答えを差し上げた。その表現がイメージですという表現になったものだと思います。そうであって、まだ確定したものではないですよと、そう言いたかっただけです。</p>
保護者 7	<p>では、確定した段階で予算案の上程をされるということですね。</p>
川鱈教育総務部長	<p>まず、建物を建てるっていうのはこういった基本実施設計をした上で、それで次はそれに基づく建築費用というものを新たに議会に上程をしていくという段階になりますので、まずこの基本実施設計がないと、どのような建物が実際に幾らの予算が必要なのかというのは確定しません。ですから、まずは基本実施設計をきちっとやらせていただく。その後に実際の建築に入っていくという状況でございます。</p>

保護者 7	では、今の段階では、予算は上程されるということですね。
川鱒教育総務部 著	今、9月議会へ基本実施設計の予算を上程したいということで、これまでもご説明をしていきたいというふうに思っております。
保護者 7	1ヶ月もないと思うんですが、その中で今イメージという言葉では言い表せられないとおっしゃいましたが、そういう段階でありながらも、綿密な設計が私達に示されるということですか。
川鱒教育総務部 長	まずはこういったイメージをもって基本実施設計の費用を上程していくという状況でございます。この基本実施設計に当たってですね、このような建物とかですね、そういったものがすぐに出てくるわけではなくてですね、実施設計をする中で、より具体を詰めていくという状況ですので、今の段階から皆様にこのような建物になりますよというふうなことを示すことはできません。こういうふうに教育委員会としては考えていますよという段階だというふうに認識をしていただいて、これが仮に9月議会に上程ができて、それが可決されるということになれば、次の段階で、先程言ったようにより基本実施設計が進みますので、そういった中でより具体的な協議が始まっていくというふうにお考えいただきたいと思います。
保護者 7	再三言わせていただきますが、やはり今の決断がベストではないと思われているのであれば、早急に予算を上程されるのは甚だおかしい話だと思います。私達、保護者も地域の皆さんも納得しておりませんので、しっかりと考えていただきたいと思います。最終的には教育委員会で決断されると言われましたが、それはおかしな話で、これだけたくさんの方の意見を教育委員会の皆さんにお聞かせしているのに、それを受け入れることもなく、教育委員会が決断されるっていうのは本当に不本意だと思います。学校運営協議会がある、地域に開かれたコミュニティ・スクールとしては、全国で恥ずかしいことになるとと思いますので、学校運営協議会がある全国のそれぞれの学校の皆さんに聞いてほしいと思います。こんなものだったら、法に基づくこういう組織っていうものがあっても意味がないと思います。それを全国にまた知らせることになるとと思います。前回の地域説明会でも、学校運営協議会から蔑ろにされているっていう話が出たにもかかわらず、まだ学校運営協議会に対して、教育委員会から正式なお話もいただいてないそうです。これをどういうふうにお考えなのかとても心配しております。お答えいただいたら私の質問は終わらせていただきます。お答えをお願いします。
小柳学校教育部 長	土堂小学校では学校運営協議会を、要するにコミュニティ・スクール化が平成17年からされています。学校運営協議会の役割というのは、私達の認識では、校長の学校運営に対して意見を言ったり学校運営方針に対して承認をする役割を担っていく。それと、地域と学校を結ぶコーディネーターの役割をしていただくというふうに思っております。要望書を私達は受け取りましたけれども、その時に会長さんがしきり

	<p>に言われていたのは、これは意見として受け取ってくださいということをおっしゃったので、私達は要望書を受け取りました。ですからその時には、前回は返事がないというお話をされましたが、返事をするとは言っておりません。私自身は、学校運営協議会があった時に、皆様の前で、短い時間でしたが説明もさせていただきました。そういったことをさせていただいていますし、また、前回土堂地域の説明会では、この副会長の方からご意見をいただいた時に、教育長自ら教育長としての見解も述べさせていただいておりますので、私達は意見を要望書という形でいただいておりますけれども、そういった意見については、やはり内部でしっかりとみんなが見ていますし、検討材料の1つとして、また参考意見として、当然周知してこういった会にも臨ませていただいております。</p>
保護者 7	<p>ありがとうございます。最後に、土堂小学校にとって、保護者にとっても地域にとっても一大事です。一大事を、学校運営協議会が何も関わることもなく、要望書を出しても、それに対するお答えもいただかないということは、今後学校運営協議会を尾道市内に広めていくっていうことはありえないと思います。全くこういう組織を置くということの意味がないです。それを提案しておきます。学校運営協議会の意味がなされません。はい以上です。</p>
保護者 2	<p>先程の意見に追加ですけれども、ないがしろにされているということで、対話教育を目指す大人たちが対話できないのに、学校が対応できると本当にお思いでしょうかね。やはり今後も対話をする協議会を組まないですか、組むんですか、どちらですか。組む計画はないですか。それともみんなと協議するそういう協議会を作りますか。どちらでしょうか。教えてください。</p>
小柳学校教育部長	<p>これは土堂小学校を統合するかどうかとか耐震化をするかどうか検討する協議会ということでしょうか。</p>
保護者 2	<p>もう一度お願いします。</p>
小柳学校教育部長	<p>土堂小学校を統合するのか、耐震化して残すのか、そういったことを議論する協議会をイメージされているのでしょうか。</p>
保護者 2	<p>それも含めて、この学校の再編についても協議会を作られていないですよ。この説明会の前に、そういった協議を、その学校運営委員会でしょうか、そちらとしてもないのに一般説明されても、ちょっとこの場で、毎回皆さん、議論になっているんですけど、それも反映されないと。なので、あらかじめ個々に説明する前に、協議会とちゃんと協議をしてもらいたいんですけども、そういった協議ができる協議会を作られないのでしょうか。</p>
小柳学校教育部	<p>結論から申しますと考えておりません。これまで尾道市内で学校統</p>



長	合をさせていただいた時に、どの地域においても、統合検討委員会というような協議会は作っておらず、教育委員会の責任において、提案をさせていただくというスタンスでもきましたし、議会の中でもそういった議論もさせていただいております。
保護者 2	ありがとうございます。つまり、対話をしているように見せかけて対話をしてないということで理解をしておきます。ありがとうございます。
保護者 8	教育と地域を切り離して考えると言われましたけど、土堂から小学校をなくすと、この先土堂がどうなるかというような検討はされたんでしょうか。土堂の街がどうなっていくかという検討はされましたか。
小柳学校教育部長	はい。先程から申しておりますように、まずは子供にとってのより良い教育環境をとということで考えておりますので、そういった、今おっしゃられたようなことについては検討しておりません。
保護者 8	子供たちの教育にとってベストな方法を選びたいというような趣旨のことを言われますけれども、それでは、教育っていうのも、結局人生が豊かで幸せになるためのものだと思うんですよ。私はもう48ですけど、やっぱり地元を思い出す時とか、子供を時代を思い出す時、やっぱりまず学校からなんですよ。それは、例えば、学校が終わって1回家に帰った後、また学校に遊びに行ったり、そういう思い出も含めてですね、地域に根ざしたものです。例えば、バスに乗って行かなきゃ通学しなきゃいけないような場所にあったら、1回家に帰ってもう1回みんなで集まろうよというようなことも、少なくとも小学生じゃ難しいですよ。そういう意味で、やっぱり人生の中で、小学校はやっぱりかけがえのないものなので、それを取り上げ、こちらの方が勉強を教えるのに適していると言われても、やっぱり子供とか子供にとってももちろん故郷が大事ですし、学校を潰してその後、土堂が恐らく寂れていく一方だとも思うんですけども、やっぱりその子供たちの故郷をあえて潰すようなことをして、子供の将来の教育のためっていうのはやっぱりもう矛盾だと思うんですよ。先程言われましたように、子供をこれからさせたいという人たちが、学校がない所に来ることはまずなく、あるとしたら出て行く一方になるので、やっぱり子供の教育っていうのは幸せを願ってするもので、そこで故郷がどうなってもという、こちらは教育の方でやるからっていうような考え方自体、ちょっと教育を施す人はやっぱりそういう考え方じゃいけないんじゃないでしょうか。何かコメントありましたら、
小柳学校教育部長	おっしゃられるように、やはり地域に学校がある、地域に根ざした教育をしていくというのは、もちろん私達も否定はしていません。大切なことだというふうに思っています。ですけども、やはり子供たちの今の置かれる今後も含めて置かれる環境を考えた時には、私達は今提案させていただいている案が最適ではないかということで繰り返し

	<p>ご説明をさせていただいているところであります。やはり地域の教育力ですね、そういったものに期待するというのが学校運営協議会の中のやはりコーディネーターさんを中心とした役割だと思っておりますので、やはり学校と地域、それから教育委員会が一体となつてするのはもちろんなんですけれども、一定程度のところはやはり役割分担をして進めるということも大切ではないかなというふうに思っております。答えになったかどうか分かりませんが、私達とすれば、今度は地域を少し大きくですね、小学校区、3小学校を統合した所を地域として捉えさせていただく。また、中学校は中学校区全体を、2つの中学校区で地域としてとらえさせていただいて、また地域の方のお力もお借りしながら教育を進めさせていただければというふうに思っております。</p>
<p>保護者 8</p>	<p>でも小学校がなくなると、少なくともそのエリアはもう衰退していく一方だとデータで出ていると私が読んだんですけど。学校に通っているその場所がエリアと言われますけれども、少なくとも、その生徒たちの地元を潰すことになると思うんですよ。だから言いましたけれども、教育というのはやっぱり本人の幸せとか、そういうもののためで、教育をすることが目的じゃなく、やっぱり施す側の者が、子供の地元のことは自分たちの問題じゃないっていうような考え方は、どうなんですか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>当然、様々なご意見がおります。ここにお集まりの方は多分一人一人お考えも違うと思っておりますし、同じ部分もあるかもしれません。ですから、当然、おっしゃることもひとつであると思っておりますけれども、私達とすれば、そういった意見もお聞きしながら、そういう意見もあることも十分承知もしておりますけれども、今はやはり、街づくりというよりも、新しい学校作りは子供たちにとってのより良い教育環境ということで考えさせていただく、これまでと同様の考え方で進めさせていただきたいということで提案をさせていただいております。</p>
<p>保護者 8</p>	<p>子供にも、君たちの地元を潰すかも知れないけどいい教育してあげるからねっていうようなことが言えるんじゃないかな。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>また今後、子供たちにも、やはり一定の方向性が決まりましたら説明をしていかなければいけないというふうに思っております。ただ、その学校を潰すという言い方がいいのかどうかはありますけれども、やはりどのように説明するかも考えて、子供たちに正直にしっかりと返していけないといけないと思っておりますので、返し方については、学校としっかりと相談をさせていただきながら、進めなければいけないと思っております。</p>
<p>保護者 8</p>	<p>もちろん子供には子供への言い方が、今はちょっと比喩的に言っただけで、子供には子供に対する物の言い方があると思っておりますけれど、</p>

<p>保護者 9</p>	<p>やっぱりそういうのが教育姿勢に出るとしたら、私はちょっと間違ってるんじゃないかと思います。以上です。</p> <p>失礼します。これは質問ではなくて、お願いなんですけども、先程から地域とか街づくりを切り離して考えているってところが、皆さんの論点に入ってきているわけなんですけども、土堂小学校に通い始めている保護者さんたちの、皆さんやっぱり、土堂っ子太鼓ですね、あと商店街の街探検を楽しみにしています。これはやっぱり地域とは切り離せなくて、うちの子たちもやっぱりすごく楽しんでますし、喜んで活動しています。今後、やっぱりそういうふうに地域とは離すんだみたいな認識が溝になってしまった場合、もう受け入れませんとか、土堂っ子太鼓も、ベッチャー太鼓さんに指導していただいたりしているんですけども、ご協力できませんってなってしまうとやっぱり残念なわけなんです。今通っている子供たちも。伝統文化祭っていうのも見せていただいているし、あと郷土愛を育むっていう説明もしていただいている中で、そういったことが起こるのはやっぱりちょっと避けていただきたいなと思っています。何ていうんですか、責任論にはなってしまうのかも知れないんですけども、大前提として、こういう話をすると、地域の方が足を引っ張ってるんじゃないかっていうご意見もあったりしまして、ちょっと意見が分かれたりするんですね。もうちょっと教育委員会の方も考えてほしいというご意見の方もいけば、地域の方があまり強い意見をおっしゃられるから、何て言うかな、地域との格差ができてしまって、学校運営に支障が出てくるんじゃないかみたいな意見も出てきてまして、それは地域の方のせいじゃないようにしていただきたい。というか、ご提案いただいている以上、何とか場を納めていただけるといふか、そこにちょっと責任を感じていただきたいというか持っていたきたいなと思っています。すいません。これは意見というか、お願いです。失礼しました。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>5 閉会</p> <p>本日は、教育委員会の方から改めて説明をさせていただき、皆様からたくさんのご意見をいただきました。本日を含め、関係する6つの学校で開催をしております保護者説明会や、今後4つの地域で開催予定の地域説明会でのご意見等を踏まえまして、子供たちの安全の確保、子供たちが切磋琢磨しながら学ぶための教育環境、こういった観点から、教育委員会として最終的な判断を行いたいと、そのように考えております。ただ、議論の中にもありました、学校の教育内容あるいは学校施設、通学対策等については、今後も皆様のご意見を伺いながら、引き続きより良いものになるように検討していきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひいたします。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>(21 : 15 終了)</p>